

〔新垣善之議員 登壇〕

○2番 新垣善之君 こんにちは。お願いします。議長休憩願います。

○議長 玉城 勇君 休憩します。

休憩（午後1時12分）

再開（午後1時13分）

○議長 玉城 勇君 再開します。2番 新垣善之議員。

○2番 新垣善之君 それでは、最初に質問を通して答弁をいただいた後に再質問をしていきます。それでは大問1、生活道路における車両の速度抑制をということで、（1）町道1号、13号線に道路抑制装置、またはゼブラ線の表示をしてはどうか。（2）歩行者の安全確保のために、生活道路や保育園・幼稚園・小学校周辺の速度抑制を徹底せよ。

大問2番、第一次コロナ対策支援策の評価と課題を考える。（1）地域経済活性化対策（商品券）の効果はどうだったか。（2）高齢者支援策（買物支援、見守り・介護予防）の効果と改善点は何か。（3）教育支援策（学習支援員、作業療法士派遣）の効果はどうか。（4）コロナ禍による文化芸能活力アップ推進事業等を検討してはどうか。（5）外出自粛により児童生徒の体力は低下していると考えるが、幼稚園・小学校へ体育専科教諭を配置してはどうか。

大問3、防災対策と安全教育を考える。（1）避難場所となっている北丘小学校体育館は雨漏りがある。修繕か建て替えを検討してはどうか。（2）学校や自治会で、より実践的な安全教育（生活・交通・災害）と訓練の実施を取り入れてはどうか。

大問4、待機児童対策を問う。（1）本年度より、子ども・子育て支援事業が開始されたが、計画的に待機児童は解消されているか。お願いします。

○議長 玉城 勇君 副町長。

○副町長 国吉真章君 では、質問事項1点目の生活道路に係る車両の速度抑制の（1）についてお答えします。町道1号線と町道13号線の国道より北側については、路面標示及びグリーンベルト等による速度抑制装置の整備を実施しており、今年度で完了予定となっています。

（2）についてお答えします。緊急性、必要性の高い箇所から交通安全対策事業等を活用し、路面標示等による安全施設を整備してまいります。

質問事項2点目の第一次コロナ対策支援策の評価と課題についての（1）についてお答えいたします。はえるん商品券1万6,000冊を発行し、既に完売しております。そのことより町内で8,000万円の経済効果が期待されます。

（2）についてお答えします。高齢者買い物支援事業の効果は、外出による感染防止を図り、日常生活を維持することができたことです。見守り・介護予防事業の効果は、保健

師、看護師等が訪問することで、健康・体調面の不安感の解消及び情報提供ができたことです。改善点については、現時点では特にありません。

質問事項4点目の待機児童対策を問うについて。(1)についてお答えします。令和2年度から始まった第2期町子ども・子育て支援事業計画に基づき、定員の増、分園増築、小規模保育事業所の施設整備等を行いつつ、国、県補助金等を活用した各種保育士確保事業を実施し、待機児童の解消に努めていきたいと考えております。

○議長 玉城 勇君 教育長。

○教育長 新垣吉紀君 質問事項2点目の(3)でございます。学習支援員については、各小中学校へ1名配置し、学習に遅れがちな児童生徒に対して、より丁寧な学習の指導が図られているものと認識しております。作業療法士の派遣につきましては、事業所と委託契約を行い、各小中学校に1名を派遣し、教員に対し、児童生徒への対応を助言しております。学校からは児童生徒への具体的な関わり方の助言により、今後の学級運営に生かしていきたいとの報告がなされています。

続きまして、(4)でございます。新型コロナウイルスの影響により多くの文化芸能活動が制限されています。今後は、それら活動に対し、どのような有効な支援が行えるのか。様々な面から検討してまいりたいと思います。

続きまして、(5)です。基本的には小学校への体育専科教諭の配置はなく、学級担任が行っています。ただし、沖縄県教育委員会は、体育科指導コーディネーターとして、県全体で8人を配置しておりますが、本町への配置はございません。今後、県からの配置調査等があれば、積極的に要望していきたいと思います。また幼稚園においては、一括交付金を活用した幼稚園体育活動充実事業で、園児の体力向上を図っております。

質問事項3点目の(1)です。体育館の雨漏りについては、現在対応中でございます。また、今年度より耐力度調査を行い、その結果を受け、全体的な対応を検討してまいります。

(2)です。学校においては、毎年、火災、地震・津波、不審者に係る避難訓練、非行や犯罪から身を守るための防犯教室、さらに交通安全教室など、安全教育を行っております。また自治会においても避難訓練等の防災訓練を実施しており、地域の防災力向上に努めております。以上です。

○議長 玉城 勇君 2番 新垣善之議員。

○2番 新垣善之君 ありがとうございます。初めの大問1の(1)から町道1号線、13号線についてお願いします。毎日私は、朝5時半からヤギの散歩、そして6時から犬の散歩に行きます。6時半から7時半の間は交通量は少ないんですけども、スピードを出してよく通るんですね、車が。バイクもそうですけれども。その後7時15分から8時15分の間は、子供たちの登校になりますが、そのときも仕事をなさっている方は時間を気にして飛ばすというのがほとんどです。その13号線は与那覇公民館のところですが、約2週間前にゼブラ線、遠近感覚を見越した、速度を減速させるような路面標示をどうもありがと

うございます。今、与那覇自治会長からこの2週間ですけれども、感想をいただいて、減速につながっているんじゃないかな。日中はそんなに飛ばしている様子はないということで感想をいただいております。がしかし、遠近感覚になれてくると大丈夫だろうということで飛ばしてしまう車両はあると思います。そこで前から、玉城議員がおっしゃっているようにハンプやバンプ、バンプは急激な減速をするためのちょっとした高い、凹凸のあるものだと。ハンプは緩やかなもので、落としていく減速装置であるということで、これは調査研究を重ねながらやっていけばいいのかなと思っているんです。先週、ちょうどニュースをたまたま見ていると、福岡県の古賀市というところが小学校前にハンプ、緩やかな減速装置を設置している。登下校の際のスピードの出し過ぎで児童の安全確保が得られないということで、約1か月間、そのハンプの調査研究を1か月間やるということで言っておりました。またこの南風原町においても何か所か危険箇所があると思いますので、まずはゼブラ線を何か所か設置し、その後、改善が見られないというのがあれば、ハンプやバンプの設置が可能なかをお願いします。

○議長 玉城 勇君 まちづくり振興課長。

○まちづくり振興課長 仲里 明君 お答えいたします。

議員がおっしゃるとおり、与那覇地区の町道13号線については、今年度の事業で白線とハンプと、それから狭窄の効果があるような路面標示を行っております。自治会長をはじめ、地域の方々からも抑制の効果があるという認識をしているということで報告を受けております。町としては、今議員がおっしゃっているとおり、なれてくると、また元に戻るんじゃないかという懸念がありますので、町としての対策としては、ゾーン30みたいな標示はできないんですけれども、道路管理者としてのできる標示がありますので、ゾーン30ではないんですけれども30のマークを入れるとか、補助様式というのがありますので、そこは十分検討できるのかなと。それでも効果がなければ、さらなる対策を講じていくというふうに考えております。以上です。

○議長 玉城 勇君 2番 新垣善之議員。

○2番 新垣善之君 やはり、場面標示だけでは、体感的な減速を伴うようなショックまではいかないけど、そういうのがないと、公民館周辺に限らず、高齢者、認知症を患っている方もいるし、弱視の方もいらっしゃるし、あとは夕方になると家族連れ、幼児と歩いている、前かけで抱っこしているお子さんと、手をつないでいるんだけど、3歳児、4歳児の子供がばっと飛び出して、ヒヤリ・ハットする場面が多々見受けられ、またヤギが逃げたりして、道に出てしまうという場面もありますので、そういったものも手前で何とか減速させられるような装置があれば、ここは徐行区間なんだなということで体感を通じてできるのではないかと思いますので、今回ゼブラ線に対応して、今、調査研究の期間中であるということで、今後よろしくお願いします。

(2)は、保育園、幼稚園、小学校の近くに最近狭小ですか、道路を狭くする白線標示やグリーンベルトをよく目にしますが、これは何か所か危険箇所があつて、それを重点的

にやったと思いますが、それでよろしいですか。

○議長 玉城 勇君 まちづくり振興課長。

○まちづくり振興課長 仲里 明君 お答えします。今、議員がおっしゃっているグリーンベルト、それから白線標示については10か所の路線について整備を完了に向けて取り組んでいるところですが、議員がおっしゃるとおり、小学校とか集落道路については、結構町内にはたくさんございますので、それについてはご答弁のとおりでありますけれども、緊急性とか、そういったことも勘案しながら取り組んでいきたいなと思っております。それからグリーンベルトと側線については、今、情報では全て把握しておりませんが、一部の地域においては、十分白線をして、路側帯を確保した前提で速度の抑制が見受けられますと。それから運転者に確認したところ、やっぱり歩行者が通っているときには、十分この白線から車道側、歩道側に寄らないように私たちは気をつけていますとか、いろんな意見もありました。効果はあるのかなと認識しておりますので、これからまた各路線について緊急性があるところについては、随時また整備をしていきたいと思っております。以上です。

○議長 玉城 勇君 2番 新垣善之議員。

○2番 新垣善之君 この質問をする同時期ぐらいから、よく白線だったり、グリーンベルトだったり舗装されていて、とてもいいなという感じで思っておりました。また去年、一昨年あたりで交差点付近で幼児の、園児が散歩中に交差点に突っ込むという事例もありましたので、そういった安全管理の面からグリーンベルトを敷いて、そこが安全なんだよ。車は車道を、中央付近交差する場合には気をつけてねというふうな、目視でちゃんと確認できる合図を今後もやってほしいなと思います。ありがとうございます。以上です。

次に第2問目、コロナ対策支援策の評価と課題なんですけれども、(1)これは第一次の販売は100%、返金率がまだ10月まで終わっていないので58%の返金率ですかね、昨日、おとといの一般質問でありました。ところで、昨日のタイムスでも各市町村こういった活性化対策、商品券の活性化対策をして好評だということでありました。できれば、交付金が続く限りは第3弾も続けてほしいなと思いますが、明日からちょうど第2弾が各世帯の1人当たりに行きますので、これもその幅であったり、また第2弾の様子を見ながら幅を持たせるのか。そうすれば、町民全体で地域活性化になるのですが、いかがですか。

○議長 玉城 勇君 産業振興課長。

○産業振興課長 金城克彦君 おかげさまで第1弾が完売で、問合せも多く、第2弾も明日から販売ということですが、その問合せについてもとても好評をいただいております。ありがたく思っています。また第2弾は、第1弾の規模に比べて約2.5倍ぐらい、額面2億円の事業として執り行っておりますので、今後もそれを進めていきたいと思ます。また今後について、第2弾が終わって、総括といいますか、そういうことは判断して、

また次については、その時点で検討するということになると思います。以上です。

○議長 玉城 勇君 2番 新垣善之議員。

○2番 新垣善之君 皆さんやっぱりコロナ対策はしっかり行った上で、経済も活性化させないといけないので、そういう面では町民、事業者がお互いに支え合って、ソーシャルディスタンスを取るべきところを取る。コロナ対策をきっちり行って、経済が低迷しないようにお互いに頑張っていきたいと思います。この活性化対策に対してはとても評価があると思います。

次に（２）高齢者支援策の初めに、買い物支援なんですが、町政一般報告では８月１日時点、受付開始して約７件とありましたが、今現在は怎么样了でしょうか。

○議長 玉城 勇君 保健福祉課長。

○保健福祉課長 大城美恵子さん ９月１８日時点で申請者は１３件になっております。

○議長 玉城 勇君 2番 新垣善之議員。

○2番 新垣善之君 これの対象が６５歳以上の独居高齢者だと思うんですが、もし予算がいついつまでに消化しないといけないというのがあれば、独居高齢者ではなくて、ある程度対象を掘り下げるといって、買い物に行けない老夫婦であったり、対象幅を広げてもいいんじゃないかなと思うんですが、いかがでしょうか。

○議長 玉城 勇君 保健福祉課長。

○保健福祉課長 大城美恵子さん この事業は、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業で国の補助金事業として実施しておりますので、現時点では現行どおりで実施する予定です。新型コロナウイルスの第３波に備えても、またその時期に来ると申請者が伸びていくという可能性もありますので、そこら辺も勘案しながら、感染状況を見ながら検討したいと考えております。

○議長 玉城 勇君 2番 新垣善之議員。

○2番 新垣善之君 次の見守り介護予防ともつながるんですけども、やはり保健師、看護師が見回りをして、独居高齢者ではなくて、高齢者では買い物も行きづらいだろう、高齢者は死亡率も高いのかな、そういう面でも考慮できないのか。対象をきちんと狭めて決めてしまえば、その幅でしか支援できないのか。お願いします。

○議長 玉城 勇君 保健福祉課長。

○保健福祉課長 大城美恵子さん 一応、要項で対象は決まっておりますので、その要項上の範囲内で該当する方にやっております。

○議長 玉城 勇君 2番 新垣善之議員。

○2番 新垣善之君 この見守り介護予防事業でも、我が家には認知症のおばあちゃんがいて、7月に養護施設に入ったんですけれども、最初は社協の職員とコロナ対策で入院された、職員と一緒にあって一人一人の独居老人であったり、部落を回って行って、その後で2回目は国保年金課の職員だったのか、も見回り、コロナ対策、十分気をつけてくださいねということでリーフレットを持ちながら歩いていて、やっぱり一人一人介護予防事業で把握されているので、とても自分自身もありがたかったし、今おばあちゃんは施設に行っているよということで、でも関わりのない高齢者からするととてもありがたいなという。自分は社会から見放されていないんだなということで多分あると思うんですね。そういった安心感、心のケアにもつながっていると思うので、これもとてもうまくいっている事業じゃないかなと思います。あとはできれば、そういった予算があるのであれば、それを掘り下げてやってほしいと思いますので、そこら辺も今後検討できるのであれば進めてほしいなと思います。

続いて3点目、教育支援に関してですが、これも自粛期間の中で子供たちは心のケアであったり、ずっと家にいて規制であったり、そういった面もいろいろ報告があるかと思いますが、教師間の間でこの事業を通してとっても効果が得られているという報告などがないのかなと思って、どんなですか。

○議長 玉城 勇君 学校教育課長。

○学校教育課長 宮良泰子さん 今回、配置しました学習支援員と作業療法士について、実際どのような効果があったかという報告はまだ途中ですのでございません。

○議長 玉城 勇君 2番 新垣善之議員。

○2番 新垣善之君 まだ一次対策で派遣したばかりなので、そういった面も見守りながら、子供たちが安心して教育、多分学習の遅れだったり、先生方も急いで授業を進めていると思うんですけれども、分からないという、こういったものじゃないんだよ、一つ一つやっていこうねというような取組が多分なされていると思いますので、そういった面を見守りながら、役所のほうも、各担当課も見守りながら情報交換していただけるといいのかなと感じています。

続いて(4)ですけれども、これは自分も空手をやっていて、以前南風原高校にいて郷土文化コースの郷土芸能部も見たりしていたんですが、やはり何か芸能人って、普通は自分のためにやるんですけど、やっぱり見せないと自分のモチベーションが上がらないというのがあったりして、だけど今、各黄金ホールも制限される。500人入るところを100人しか収容できない。そういった面で催事を行ったところで、催事の使用料と入場、100人に

対しての収入も得られないということになった場合に、この地方創生臨時交付金の中の30ページ、44ページ、46ページにあったんですが、無観客配信を支えるシステム構築支援事業、映像産業を軸とした観光産業振興と地域ブランディングということで、それぞれの地域のブランドであったり、それを配信、それが公の、担当課がやるのか、各個人個人で配信して兼城十字路チャンネルのようなものをつくって、各個人個人でやればいいんですけども、何か南風原町としても地域のブランディング、南風原緋であったり、あとはそれぞれの事業所が持っている名産品であったり、そこをふるさと納税と生かされるような配信の仕方が今後展開されればいいんじゃないかなと思っているんですが、今の現状、南風原中央公民館の借用状況はいかがですか。

○議長 玉城 勇君 生涯学習文化課長。

○生涯学習文化課長 島袋 健君 ただいまご質問いただきました、黄金ホールの現状といたしましては、先日までの緊急事態宣言下の中では、もちろん公民館のほうも全体的に臨時休館とさせていただいたところです。そして9月6日から、先月再開してからは、徐々に借用のほうも増えてきて、サークルのほうも通常下に向けて実施しているところです。サークルの中でも一部、例えば発声するサークル等はまだ自粛しているサークルも一部にはございますが、それ以外では、徐々に、一般の社協も含めて借用の件数、問合せを含めて出てきているところです。あと今、議員からもありましたように、形態といたしましては、当初は人を入れてということに固執していましたが、最近では無観客、場合によっては小観客等でも、リモート等、あるいはライブ配信等、通信設備、そういったものはどうですかという問合せも出てきていますので、今後そういった新しい生活様式を踏まえた新しい支援策等もそういう団体の皆様とも話し合いといいますか、検討しながらできることを執り行っていきたいと考えております。以上です。

○議長 玉城 勇君 2番 新垣善之議員。

○2番 新垣善之君 本定例会の補正の中でも、南風原町海外移住者子弟研修生交付金事業というのがあって、その中でもブラジルやペルー、いろんなところに研修生がいて、今の南風原もこういった事業をやっているよと、自分たちの本来研修すべきプログラムの中で、琉舞だったり三線だったり空手だったり、南風原町のプログラムをライブ配信できて、お互いに交流できるようなシステムを構築したり、今はそういったシステム構築なんですけれども、本来は来ていただいて、生の風土を楽しんでいただく、技術を学んでいただくというのが本来だと思うんですけども、今は行けない、でもルーツを知りたいというモチベーションをしっかりと保つためにも、文化芸能に携わる人たちのモチベーションを保つためにも何らかの手立て、支援事業があるよということをもっと表に出していけば個々人で練習をしているとは思いますが、何かしら次のステップにつながるような取組が今後なされていければ心強いなと、役所からこういったものもあるよということで公民館講座をしている方々にもいろいろ提供してやっていければいいのかなと感じました。何かありますか。続けます。

(5) ですけれども、先日北丘小学校で体育学習発表会が行われました。コロナ対策で大々的な運動会にはならなかったんですけれども、各学年ごとに30分ずつ、かけっこやダンスじゃない、それぞれの学年の踊りを見てきたんですけれども、見ている限りは体力が低下しているまでは、目視では感じられなかったんですけれども、それぞれの個々人の体力、私もそうなんですけれども、やっぱり落ちている。その中では小学校教諭は時間短縮、授業時間が短縮になった中で、授業実数をこなさないといけない、単元を消化しないといけないというのがあるんですけど、そこをまた体育の授業、汗をかいてまた戻ってくる、教科の授業、準備、指導案の作成だったり、いろいろ小学校教諭、私の母も小学校教諭だったんですけれども、教科が多過ぎて、国語、算数、理科、社会、生活、音楽、図工、家庭科、体育、外国語、総合学習特別活動、それに加えて学校行事とあるので、そういった体育専科の教諭を配置すれば、そういった学校行事であったり、教員の負担軽減、あとは体育の質の向上、技術の向上につながるんじゃないかなと思います。がしかし、今は財政上のもので、これは私も体育人やってきたので、何とか取り入れる、今は財政健全化の最中なので、これをしっかり財政健全化計画を完結し、財政があった上で、教育長、是非次期当選したときには、これはやっていきたいなと。今はそういった事業下ではなくてあるんですが、体育、負担軽減のために、また体育人が今年度の教員採用試験で中学校教諭の受験者、体育教諭の受験者が265人、高校が153人、特別支援が56人、その中で中学校256人のうち一次を通ったのが30人、高校が153人中の6人、特別支援が56分中の6人、これからまた二次、三次とあるので、もっともっと減って合格となるので、とても狭き門なんですね。こういった体育人が中高の免許を持っているんだけど採用されないということで小学校に下りていく先生方もいらして、がしかし、教科の枠内は限られていて、その中の一つ、体育という教科を専科にすれば、これは子供たちの一つ一つの安全性の目というか、そこにもっともっと質の充実したものが取り入れられるんじゃないかなと思っていますが、教育長、この見解に向けて私はやっていきたいんですが、いかがでしょうか。

○議長 玉城 勇君 教育長。

○教育長 新垣吉紀君 公立学校の義務教育、小中学校においては県費負担職員制度というのがありまして、県が給与を負担して配置するという制度でございます。なので、今議員おっしゃっているのは体育でありますけれども、全ての教科にそういった中学校から変わっていくんですが、小学校のうちは担任が行うという、今の国の制度があるんですが、単費で配置をするとすると、おっしゃるとおりかなりの負担になるのは事実でございます。その辺もあるので、先ほど最初の答弁で申したように、県のほうが体育科の指導コーディネーターという制度をやっているようです。これも趣旨は議員がおっしゃっているような趣旨で、児童生徒の体力の向上というのでモデル校のような位置づけで8人配置されているということでありますので、是非また次年度にはうちも。要望という制度であれば、そういうのも活用しながら取り組んでいきたいというふうに現時点では思っております。

○議長 玉城 勇君 2番 新垣善之議員。



○2番 新垣善之君 この南風原町内の子供たちがいろんな種目の技術を習得できるように。そして個人の能力が伸びて、20年後にはオリンピック選手、プロ選手がもっともっと輩出できるような取組をロングスパンで考えておりますので、是非よろしくをお願いします。

続いて、大問3番目、防災対策ですが、(1)北丘小学校の体育館ですけれども、以前から指摘があるように雨漏りがあります。今回の台風9号、10号においても県外では長崎県の香焼中学校の壁が?がれる。佐賀県本山小学校、屋根がめくれる。鹿児島県屋久島町宮之浦体育館でも屋根が?がれて避難している方々が、ほかの避難所へ移動したという経緯もあるので。そういったものを考えるとハード面の構築であったり、今耐力度調査がまさに行われていると思います。自分も見ました、鉄筋のところを?がして、耐力度を多分見ていると思うんですけれども、そういった面で今現在調査中も結果が出るのか、今の現状をお願いします。

○議長 玉城 勇君 教育総務課長。

○教育総務課長 比嘉純子さん お答えします。北丘の体育館については、今耐力度調査を行っていて、その結果は年内に出るということです。その後にこの結果を受けて、いろいろな検討を始めていきたいと思っております。

○議長 玉城 勇君 2番 新垣善之議員。

○2番 新垣善之君 やはり避難者が安心して避難場所へ移動し、そこへ安心して寝泊まりができるような施設づくり、また体育館では一つの体育館なんですけれども、あそこ的高低差を十二分に生かして、もし建設事業が始まる場合にはプールであったり、体育館であったり、あとはその下のほうに北丘児童館があるけれども、その下に児童館を造るなり学童を造るなりといった、総合的な事業を取り組んでいけると。今後、まだまだ優先順位はどこにあるか分かりませんが、つくっていける、建設事業へ着手できるようによろしくお願いします。

次に(2)、これはより大災害、今回の条例でもありますが、強靱化計画の中でもあったように、我々人間が大災害が起きた場合に、本当にそういった避難の行動、もしくは防御する行動を取れるのかといったもので、学校においては多分、今年度年間事業計画ではまだやっていないのかな、そういったコロナの状況も勘案しながら避難のマニュアルがあると思いますが、現状の学校での避難訓練はどうなっていますか。

○議長 玉城 勇君 学校教育課長。

○学校教育課長 宮良泰子さん お答えいたします。今年度はコロナウイルス感染症の影響により、例年どおりの避難訓練というのは実施が完全にできていないというふうに聞いております。なので、学級ごとに避難経路の確認だったりとか、規模を縮小してできるような範囲で実施しているという形で聞いております。

○議長 玉城 勇君 2番 新垣善之議員。

○2番 新垣善之君 これも毎日毎日の訓練ですので、何かしら、まずは知識を得ながら毎日毎日訓練が必要だと思いますので、できればカリキュラムの中で、年間行事の中で、何回も何回もできるようなクラス単位、学年単位、学校全体単位で何回もやってほしいなと考えております。

また、自治会においてもこれは要支援者であったりとか避難態勢が構築されているのか。その要支援者に対しては、誰がそこまで行ってやっているのかまで検討されているのかは、いかがですか。

○議長 玉城 勇君 保健福祉課長。

○保健福祉課長 大城美恵子さん 要支援者については、現時点では医療的ケアの必要な障がい児と高齢者について個別の支援計画を立てて緊急連絡先だったり、または地域の支援者だったりの個別支援計画を立てています。以上です。

○議長 玉城 勇君 2番 新垣善之議員。

○2番 新垣善之君 これも自治会の自主防災組織を組織化して、公助でやる部分、共助でやる部分、または自助でやる部分はしっかり区別しながら、お互いの地域ですので、そういった自主防災組織を組織している箇所は何か所ございますか。

○議長 玉城 勇君 総務課長。

○総務課長 新垣圭一君 答えします。4団体となっております。

○議長 玉城 勇君 2番 新垣善之議員。

○2番 新垣善之君 新垣課長が若いときには、私は子供ですので、公民館で生涯学習文化課長とも一緒に、新垣課長も含めて与那覇でも自警団として、消火ホース、私たち野球で遊んでいたんだけど、ちょっと練習するからどいておけということで、ホールを固めるところから投げるところまで、また回収するところまで毎回やっていたんですよ。そういった組織を課長自らやっていたので、そこを何とかみんなに、課長自らお手本になるようにマニュアルは多分あると思いますけど、そこをまずはやっていきます。よろしくお願いします。課長、一緒にお手伝いできますか。お願いします。

○議長 玉城 勇君 総務課長。

○総務課長 新垣圭一君 答えいたします。自主防災組織について、総務としても各自治会に結成に向けて支援しているところであります。今議員おっしゃるように、やはり地

元に帰れば一住民ですので、積極的に協力していけるよう頑張っていきます。以上です。

○議長 玉城 勇君 2番 新垣善之議員。

○2番 新垣善之君 力強いお言葉ありがとうございます。たくさん言いたいことありますけれども、次に進みます。

待機児童対策ですね、私はちょっと変わった視点から見ていきたいと思います。第5次南風原町総合計画と第2期南風原町子ども・子育て支援事業計画からいろいろ探って自分なりに検証してみました。平成21年待機児童の推移とあって、平成21年から39人、22年が27人、23年が40人、24年が48人、25年が23、26年が49人、27年が227人、28年が188人、29年が150人、30年が194、31年が208人。平成27年度で約3倍ぐらいの膨れ上がり方があり、そのときには第2期計画は策定中にもいかない、まだ第1期をやっている最中でありました。しかし、いろんな施策の中で南風原町、今回監査の報告にもあったように、南風原町は社会福祉の町であると、子育てしやすい町、そこを他市町村の方々がその情報を得て、女性の就業率であったり、そこへ入ってくる、子供が預けやすい。また南風原町の子供に対する支援事業もたくさんあると。その中で、保育士処遇改善に対して、または保育園に対して認可外、または市町村外に支援している各項目、私が調べた中では16項目あるんですが、約25億の財政が投じられていて、需要に対して計画的に解消できると思うんです。しかし、そういった需要と供給が追いつかずにいるので、そこら辺は私は納得できます。しかし、ハード面にもあまり力を入れ過ぎてもいけないし、その後の計画もあるだろうし。いろんなソフトパワーを見いだすために。いろいろな財政が投じられていますが、今後、今回の条例にもありました休暇を取得しやすいものもあったんですが、もっと解消できるような取組がないのか、まとめてお願いします。

○議長 玉城 勇君 民生部長。

○民生部長 知念 功君 ありがとうございます。本町の待機児童解消を含め、子育て支援等の取組への評価をいただきありがとうございます。しかしながら、議員おっしゃいますように待機児童の解消はいまだできておりません。これからについてであります、いろいろな保育士確保の支援策がございますので、限られた財源の中ではありますが、先ほど25億円というふうにおっしゃっていましたが、本当に相当な金額を毎年投じながらこういった子育て支援等を取り組んでおりますが、そういった中で、またこういった限られた財源の中で、いかにまた保育士を確保していくかという部分では、しっかりいろんな事例を研究して、保育士の働きやすい環境をつくって認可保育園と連携しながら、南風原町の保育園で働いてよかったと。保育士さんも思えるような環境づくりを共に目指して、一人でも多くの保育士が町内の保育園に働いてもらえるような形で確保策に取り組んでいきたいと思います。

○議長 玉城 勇君 2番 新垣善之議員。

○2番 新垣善之君 本当に南風原町は質の高い保育をしておりますので、そしてほかからの流入もあり、すばらしいまちづくりをしておりますので、何とか皆さん待機児童解消に向けて執行部はやっていますので、みんなで乗り越えていきましょう。以上です。